

新発田信用金庫と地域社会

～で愛、ふれ愛、ささえ愛、を大切にし、地域社会と積極的に関わっていきます～

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、営業地区を新発田市、新潟市(旧新津市、白根市、小須戸町、横越町、亀田町、黒埼町、岩室村、西川町、潟東村、中之口村、月潟村、味方村を除く。)、阿賀北地域となる阿賀野市、北蒲原郡全域、村上市、岩船郡3町村、東蒲原郡阿賀町(旧鹿瀬町、三川村)(本ディスクロージャー誌の21頁をご覧ください)とし、地元の中小企業や住民の皆様が出資会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。「地元の金融機関として大衆の信頼に応え、共存共栄の理

念に基づき、地域社会の繁栄に貢献する」を基本方針として、大正13年7月8日の創業以来、地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とされるお客様にご融資を行って、中小企業の発展と、地域の皆様の繁栄と豊かな暮らしづくりへのお手伝いをモットーに、地域社会の発展とともに歩んでまいりました。

今後も地域社会の一員として地元の中小企業の皆様や住民との強い絆を形成し、地域経済の活性化に向け積極的に取組み、地域社会との共存共栄を図ってまいります。



預金積金に関する事項(地域からの資金調達の状況)

当金庫では、地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

当金庫の特徴的な商品として、「消費税特別融資制度」のお申込のできる消費税専用の定期積金「笑納くん」や、毎年夏季と冬季には夢のある懸賞金付定期預金「ドンと来い!」をご提供いたしております。

また、年金振込みのお客様専用の「ゆとり普通預金・貯蓄預金」、「ゆとり定期預金」などの金利上乘せでお得な預金もご提供しております。

お客様の多様化する運用ニーズにお応えするため、個人向け国債、やスポーツ振興くじ「toto払戻業務」、生保・損保窓口販売業務もお取扱いしております。

預金積金残高(平成17年3月末現在)
663億89百万円

決算に関する事項

平成17年3月期決算は、貸出金の伸び悩みや運用利回りの低下により厳しい状況下にありましたが、経費の削減や経営の効率化に努めるとともに、債権の売却・償却を進めた結果、2億6百万円の当期利益を計上いたしました。

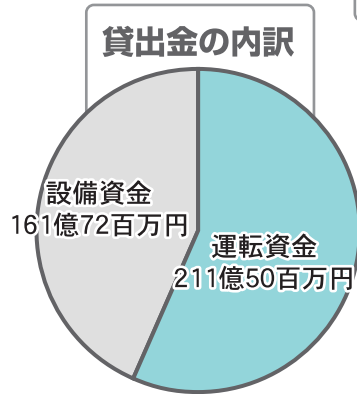
また、経営の健全性を示す自己資本比率は、13.10%となりました。

平成17年3月期
当期利益 …………… 2億6百万円
自己資本比率 …………… 13.10%

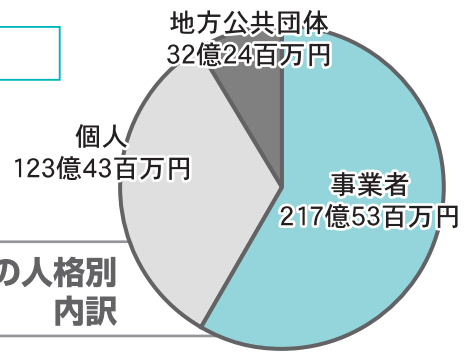
貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

当金庫は地域社会の繁栄に貢献するという基本方針に基づいて、信用金庫業務の公共的な使命を踏まえながら小口多数利用の原則に立って、地域の中小企業や個人の皆様の専門金融機関として特定の業種やお客様に偏ることなく、お客様の幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするように努めております。

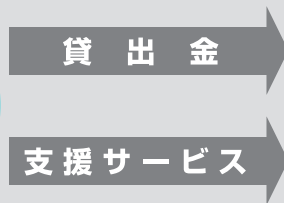
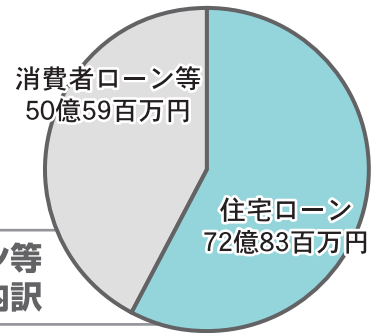
貸出金残高(平成17年3月末現在)
373億22百万円
 預金積金に占める
 貸出金の割合(預貸率)
56.21%



貸出金の人格別内訳



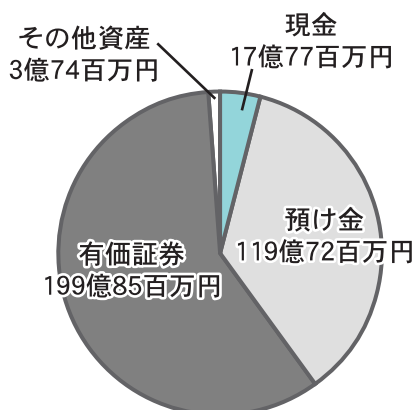
住宅ローン等の内訳



貸出金以外の運用に関する事項

当金庫ではお客様からお預かりした資金(預金積金)のうち、貸出金以外の資金(余資)につきましては、安全性と収益性に十分配慮した余資運用を行っております。

平成16年度の期末残高の前期比較では預け金が9億92百万円増加、有価証券は20億40百万円増加しました。



(平成17年3月末現在)

取引先への支援等(地域との繋がり)

当金庫の80周年を記念して、新発田市と豊栄市(現新潟市)にそれぞれ公用車を寄贈。紫雲寺町、聖籠町、加治川村の3町村に寄付金を贈呈いたしました。また、10月23日の新潟県中越大震災には見舞金をご奉仕させていただきました。

また、事業者の皆様の資金ニーズにお応えすべく新たな商品開発に取り組むとともに、企業の経営改善・強化支援を目的とした職員の研修を推進し人材の育成を図っております。

また、お客様の声を反映した経営に務めるため、各店舗に組織される10の「信金会」活動や「年金友の会」親睦活動、「地区別総代会」での経営開示を行っております。